

淀川水系赤田川 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）



凡例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
- 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川
- 河川等範囲
- 市区町境界
- 鉄道

← 木津川

赤田川

1. 説明文
(1) この図は、淀川水系赤田川の水位周知区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。
(2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の赤田川の河道の状況等を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により赤田川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。
(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域以外の区域においても、家屋倒壊や流出等が発生する場合があります。
(4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、赤田川の河岸浸食や赤田川が氾濫した場合の氾濫流により、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の影響に加え、倒壊する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定しており、個々の家屋の構造・強度特性や家屋等の立地条件等の違いから、この区域以外でも家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
(5) 赤田川の木津川合流点から上流側550mの河川改修が完成した時を想定して作成しています。
2. 基本事項等
(1) 作成主体 京都府 建設交通部砂防課、山城南土木事務所
(2) 公表年月日 令和元年10月4日
(3) 対象となる水位周知河川 淀川水系赤田川（実施区間）
左岸：赤田川橋（JR）から木津川合流点まで
右岸：赤田川橋（JR）から木津川合流点まで
(4) 公表の前提となる降雨 流域全体の1時間ピーク雨量140.0mm
(H25.9.15台風18号 1時間のみ引き伸ばし、総雨量314mm)
(5) 関係市町村 木津川市
(6) その他
① 氾濫計算は、対象区域を25m格子（計算メッシュ）に分割してこれを1単位として計算しています。また計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量をもとに平均地盤高を求めたものを用いており、微地形による影響を表せていない場合があります。
② この図は堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で堤防を決壊させ、堤防がない区間においては、水を溢れさせた時の氾濫計算結果をもとに作成しています。

